

Creating Satisfaction Accelerating Innovation



左
取締役相談役
有富 慶二

右
代表取締役
取締役社長
社長執行役員
瀬戸 薫

ヤマトグループは、成長性・健全性・効率性の3つのバランスを取りながら、持続的な企業の成長と企業価値の最大化を図ることを基本方針としています。

中期経営計画「満足創造3か年計画」の2年目にあたる2010年3月期は、おかげさまで創業90周年という節目の年に当たり、「宅配マーケットにおいて圧倒的リーダーの地位を確立すること」と「アジア圏におけるグローバル戦略の足掛かりを作ること」の2つを大きな方針として掲げ、事業経営に取り組んでまいりました。

当期を振り返ってみますと、中期経営計画に基づいて着実に手を打ってきたことが功を奏し、大局的にみれば、将来の成長に向けた布石を打つことができました。

特に、2010年1月に、上海・シンガポールにおいて宅急便オペレーションをスタートできたことは非常に意義深く、2011年3月期には、アジア圏におけるグローバル戦略の道筋をつけたと考えています。

足元の事業環境は、引き続き予断を許さない厳しいものですが、宅急便を含めた包括的なロジスティクスが中長期的に成長していくとの認識に変更はなく、成長を見据えた経営をこれからも続けていく所存です。

恐らく、この先数年で、ヤマトグループを取り巻く環境は様変わりをしてくと予測しています。ロジスティクス企業として、エンドユーザーまでのネットワークを持つ唯一の存在であ

るヤマトグループにとっては、こうした動きは好機であり、業界における地位をさらに磐石なものとし、ゆるぎない地位を確立していきたいと考えています。

Accelerating Innovation

「世の中に新しい価値を提供し、新しい時代の流れを創り出すことで、お客様から選ばれ、信頼されるロジスティクスパートナーであり続けたい」

ヤマトグループは、グループ16万7千人のエネルギーを結集し、アジアを中心としたグローバルサプライチェーンロジスティクス企業を目指して、弛まぬ努力を続けてまいります。

今後とも、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年9月10日

取締役相談役 有富 慶二

代表取締役
取締役社長
社長執行役員 瀬戸 薫